学校番号	303

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	数研出版株式会社「論理国語」　（数研出版）						
副教材等	パスワード級別漢字　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生に引き続き、論理的な文章の読解を通して国語の知識と技術を習得していきます。毎時間の授業の中で着実に力がつくように、一人ひとりが積極的に参加することを期待しています。
・授業の内容は論理的な文章の読解が中心となります。また、論理的な理解を深め、自分の考えを的確に表現できるように、言語活動の充実を図ります。
・定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
漢字の読み書き、国語常識の習得を通じて実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など，文章の構成や展開の 仕方について理解を深めること。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めること。 ・情報を重要度や抽象度によって階層化して整理する方法について理解を深めること。	・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら，自分の立場や論点を明確にして，主張を支える適切な根拠をそろえること。 ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり，根拠や論拠の吟味を重ねたりして，主張を明確にすること。 ・文章の構成・展開，表現の仕方などについて，自分の主張が的確に伝わるように書かれているかを吟味して，文章を整えたり，読み手からの助言を踏 まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりできること。	・言葉がもつ価値の認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	【文化の認識】 ・筆者が述べる「二重構造」「いき」の内容を理解し日本人の美意識について考える。 ・「新しい普遍性」という表現に込められた筆者の意図を読み取り、自分の生活と関連づけて考察する。 ・「無意識のバイアス」の内容を理解し、筆者が述べる問題点を踏まえたうえで、具体例をあげて論述する。 ・「政治」に関する二つの文章を関連づけて読み、自分の意見を述べる。 ［教材］ 「いき」の美学 「文化が違う」とは何を意味するのか？ 「学問の政治性」	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	記述の点検 小テスト 定期考査	記述の点検 ワークシート 定期考査	提出物 振り返りシート
	【社会の枠組み】 ・各段落の要旨をまとめ、「民主主義」についての筆者の考えをとらえる。 ・労働を「アイデンティティを承認されるための必須条件」とする筆者の主張を具体的に理解し「労働」についての自分の考えを根拠とともに論述する。 ［教材］ 「「である」ことと「する」こと」 「人はなぜ働かなくてはならないのか」	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]：文章の内容と資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c：テーマについて自分の考えを深め、文章の内容を参考にしながら適切にまとめようとしている。	記述の点検 小テスト 定期考査	記述の点検 ワークシート 定期考査	提出物 振り返りシート
二学期	【情報と知性】 ・筆者の主張を踏まえて、「弱い人工知能」とは何か考察し「『生命』の発展にとって必要な技術」について考察する。 ・「物語」と「情報」の対比構造を読み取り、「テロル」としての「メディア」の具体的な内容をとらえ、メディアとしての文字、音声、画像などの特色をとらえて、その有効性や問題点を話し合う。 ［教材］ 「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」 「メディアのテロル」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：筆者の考えを的確に理解したうえで、積極的に適切な実例を考え話し合おうとしている。	記述の点検 小テスト 定期考査	記述の点検 ワークシート 定期考査	提出物 振り返りシート

	【環境と人間】 ・「意志」と「選択」について筆者の問題提起と主張をとらえて、意志と選択を混同している例を具体的に考える。 ・機械論的自然観、原子論的な還元主義、物心二元論といった哲学的概念の内容を読み取る。 ・「物心二元論」について起源や考え方を詳しく調べ、現代社会における功罪について考える。 ［教材］ 「意志と選択」 「環境と心の問題」 「エコロジーのミューズを求めて」	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b[読]：人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：筆者の主張を理解したうえで自分の考えを深めようとしている。	記述の点検 小テスト 定期考査	記述の点検 ワークシート 定期考査	提出物 振り返りシート
三学期	【思索の深化】 ・論の展開をふまえ、逆説的な表現の内容を読み取り、筆者の主張の根拠をまとめる。引用という表現技法の働きを引用以外の文章との関連性からとらえる。 ・「美」や「無常」について筆者の言おうとしていることをとらえ、考察し、筆者の考える「歴史」について、自分の考える「歴史」と比較しながら話し合う。 ［教材］ 「顔の所有」 「無常ということ」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、積極的に自分の考えを深めようとしている。	記述の点検 小テスト 定期考査	記述の点検 ワークシート 定期考査	提出物 振り返りシート
	【物語と表現】 ・本歌取りという表現手法について理解を深め、筆者の考えを読み取る。先人の作品を現代の読者にも喚起できるような表現を考えて文章にまとめる。 ［教材］ 「本歌取り」	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[書]：書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 c：課題テーマについて積極的に具体例を考えまとめようとしている。	記述の点検 小テスト 定期考査	記述の点検 ワークシート 定期考査	提出物 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間